

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	マザーズ守山		
○保護者評価実施期間	2026年1月6日		～ 2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34名	(回答者数) 24名
○従業員評価実施期間	2026年1月6日		～ 2026年1月31日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の活動プログラムが固定化されないようにできている	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動プログラムの振り返りを行い、更新を繰り返している</li> <li>法人内でプログラム検討チームを作成し、活動内容の検討がなされている</li> </ul>	活動内容実施後に利用者へアンケートを取るなどして利用者の声を吸い上げる
2	個に応じた支援ができています	<ul style="list-style-type: none"> <li>日ごろから利用者の様子を観察し、適切な支援ができるように職員間で情報共有を行っている</li> <li>定期的に面談を行い、利用者・保護者のニーズや生活環境などの変化を聞くようにしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>即戦力となる指導員の採用活動</li> <li>研修機会の確保</li> <li>法人内別事業所での活動例を参考にしている</li> </ul>
3	職員の資質向上を図り、研修や訓練の機会が確保されている	<ul style="list-style-type: none"> <li>法人内で委員会・グループを作る事でもれなく研修や訓練を実施することができている</li> <li>個人目標を立て、教室やグループの長が評価を行っている</li> </ul>	社内連絡において、これまでよりも外部研修、資格取得についての推奨を行う

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレント・トレーニングや保護者会等、開催しているが、参加率が低い	チラシや連絡帳アプリなどで周知を図っているが、あまり注目して見られていない可能性がある	送迎時に直接チラシを渡すときは、必ず声をかけ、参加を促すようにする
2	各種マニュアルの存在や職員の研修・訓練等を行っていることを知らない保護者の方が多い	マニュアルが連絡帳アプリ上で見られることや研修・訓練を実施したことの周知が足りていない	昨年と比べると認知が増えたが、依然として知らない保護者が多いため、改めてチラシを配布したり連絡帳アプリで連絡したりするなどして周知する
3	保育所や幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有などのやり取りが少ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>新1年生の入所が少なかった</li> <li>事業所見学などで新1年生のアセスメントをよくすることができていたため、その場での情報共有の優先順位が下がったと考えられた</li> </ul>	他放課後等デイサービス事業所との情報共有はできていたもので、同じように幼稚園や保育所にも働きかける